

取扱説明書

保証書別添付

HITACHI
Inspire the Next

日立LED照明器具

形式

LEC-AH50



このたびは、日立LED照明器具をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。

お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保存してください。

「安全上のご注意」 → P.2 をお読みいただき、正しくお使いください。

工事店様へ

この説明書は、工事終了後、必ずお客様にお渡しください。

もくじ

- 安全上のご注意 ……2
- ご使用上に関するお知らせ ……3
- 各部の名前・付属品 ……3
- 器具の取り付けかた ……4～5
- 器具の取り外しかた ……6
- 使いかた ……7
 - リモコンの操作 ……7～11
 - リモコンご使用上の注意
 - 各部の名前
 - 表示画面と操作ボタンについて
 - 乾電池の入れかた・交換のしかた
 - 時計の合わせかた
 - タイマー予約のしかた
 - タイマー予約の内容確認のしかた
 - タイマー予約の実行・解除のしかた
 - おこのみボタンの使いかた
 - リモコンケースの使いかた
 - チャンネルの設定 ……12
 - 壁スイッチの操作 ……13
- お手入れ ……14
- 仕様 ……14
- お困りのときは ……15
- 保証とアフターサービス ……16

安全上のご注意(必ずお守りください)

お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを、次のように説明しています。また、本文中の注意事項についてもよくお読みのうえ、正しくお使いください。

■ここに示した注意事項は

表示内容を見逃して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害を、次の表示で区分し、説明しています。

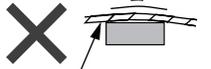
危害や損害とその程度の区分	
 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

絵表示の例	
	「警告や注意を促す」内容のものです。
	してはいけない「禁止」内容のものです。
	実行していただく「指示」内容のものです。

警告

 **このような場所には取り付けない**
※器具の落下によるけがの原因となります。

禁止

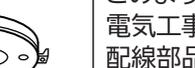
			
押すと簡単にたわむ補強のない天井	ケースウェイ取り付け形ローゼット、シーリングボディ		
			
傾斜天井	舟底天井	竿縁天井	格子天井

禁止

- 器具の改造、構成部品の交換はしない。
※火災・感電・故障の原因となります。
- 器具のすきまに金属類(ヘアピン・針金など)を差し込まない。
※感電・故障の原因となります。

 **このような配線部品には取り付けない**
※火災・感電・器具の落下によるけがの原因となります。

禁止

		
欠け 破損しているもの	割れ	ガタつくもの
		
19mm未満使用不可	角形・丸形引掛シーリングボディ	電源が露出しているもの
		
10mm未満使用不可	埋込形引掛シーリングローゼット	

このような場合は、電気工事店に依頼して配線部品を交換してください。

注意

- 定格電圧 交流100V以外で使用しない。
過熱し、火災の原因となります。
- 浴室などの湿気の多い場所や、常時温度の高い場所(35℃以上)では使用しない。
絶縁性能が低下し、火災、感電の原因となります。
- 調光器では使用しない(100%点灯でも使用不可)。
過熱し、火災の原因となります。
- 取り付け、取り外し、お手入れの際は電源を切る。
電源を切らないと感電の原因となります。
- 器具の真下にストーブなどを置かない。
過熱し、火災の原因となります。
- 屋外で使用しない(この器具は屋内専用です)。
火災・感電の原因となります。
- 点灯中および消灯直後は、器具が熱くなっているので触らない。
やけどの原因となります。
- 器具にボールなどの物をぶつけたり、衝撃を与えない。
器具の落下によるけがの原因となります。
- カバーを外して、点灯しているLED素子を直視しない。
目を傷めたり、目に悪影響を及ぼすおそれがあります。
- 照明器具には寿命があります。設置して8~10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をお勧めします。点検せず長時間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至るおそれがあります。

ご使用上に関するお知らせ (このようなことにもご注意を)

- 山間部や鉄筋建物など、電波の弱い地域では、ラジオや屋内アンテナ使用のテレビに影響する場合があります。このような場合は、ラジオや屋内アンテナを器具から離してお使いください。
- 器具の近くでは、ラジオやテレビに雑音が入ったり、他の家電品の赤外線リモコンが動作しない場合があります。このような場合は、ラジオやテレビ、他の家電品を器具から離してお使いください。
- 短い停電(0.2秒~2秒以内)や電圧の低下などにより、点灯状態が切り替わる場合があります。長期間、器具を使用しない場合は電源(壁スイッチまたはブレーカ)を切ることをおすすめします。ブレーカを切る場合、同一ブレーカに接続されている他の機器の電源も同時に切れますので、ご注意ください。
- LED光源のみの交換はできません。交換の際は器具ごと交換してください。
- LED素子の発光色等のバラツキなどのため、同一形式商品でも商品ごとに発光色、明るさが異なる、またはムラが生じる場合があります。
- 天井の材質や構造によって、器具取り付け天井面が変色する場合があります。
- 温泉地などの腐食性ガスが発生する場所での使用はお避けください。光学特性などに不具合が発生することがあります。

各部の名前・付属品

- 下図を参照して、各部品をお確かめください。 ※図は取り扱い方法を説明するための、簡略図になっています。

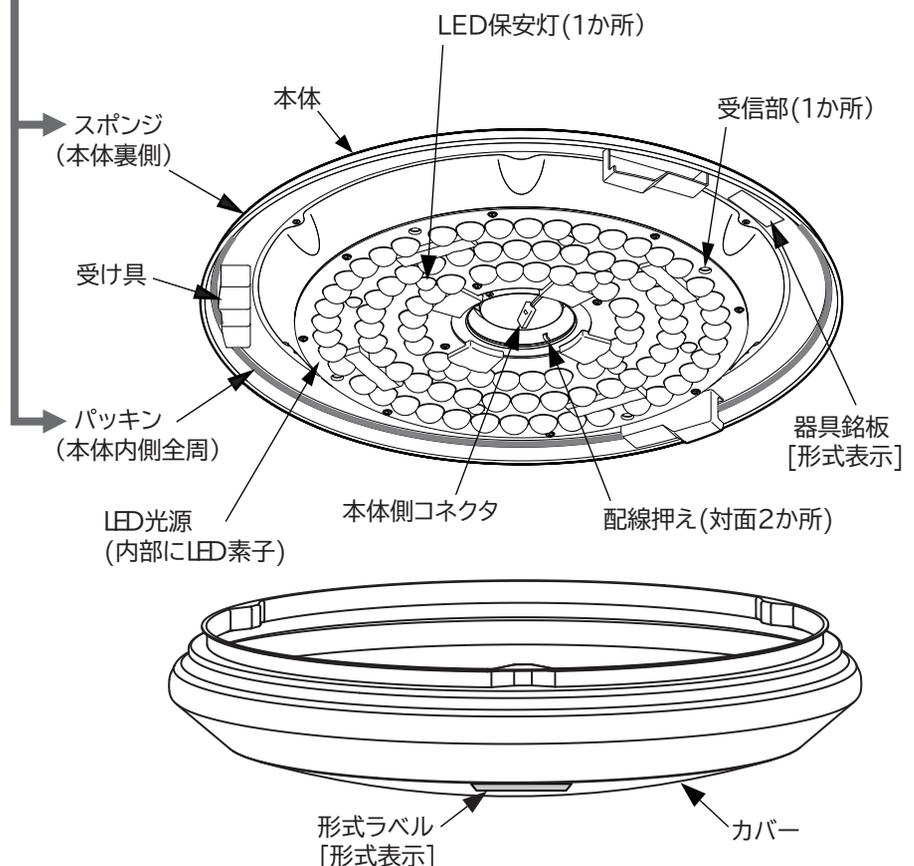
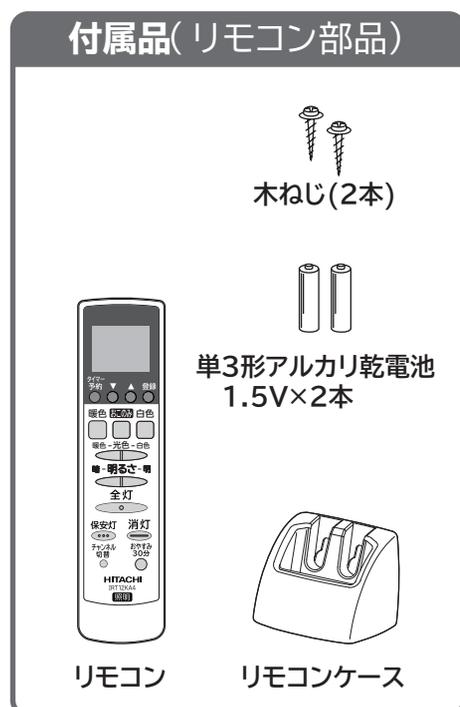
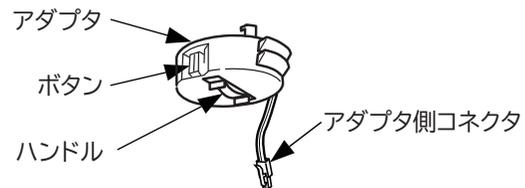


●本体裏側のスポンジやパッキンをはがさない。

必ず守る

※器具のガタつきや回転防止、防虫のためです。

角形引掛シーリングボディなどの配線部品は付属していません。



器具の取り付けかた

取り付ける前に

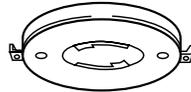
●天井にこのような配線部品がついている場合は、器具が取り付けられます。



角形引掛
シーリングボディ



丸形引掛
シーリングボディ



埋込形引掛
シーリングローゼット



必ず守る

●天井に配線部品が付いていない場合は、電気工事店(有資格者)に取り付け工事を依頼する。

※工事には資格が必要です。

アダプタの取り付け

1

電源(壁スイッチまたはブレーカ)を切ってください。

※ブレーカを切る場合、同一ブレーカに接続されている他の機器の電源も同時に切れますので、ご注意ください。



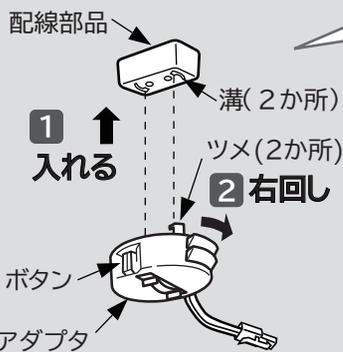
必ず守る

●器具の取り付けの際は、電源を切る。

※電源を切らないと、感電の原因となります。

2

配線部品(引掛シーリングボディなど)の溝にアダプタのツメを入れてください。また、必ず同梱しているアダプタを使用してください。



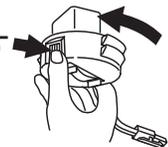
3

右方向にいっぱいまで回してください。ロックが掛かり固定されます。

アダプタの取り外しかた

●ボタンを押しながら、左方向へ回してください。

1 押す 2 左回し



必ず守る

●取り付け後、ボタンを押さずに左方向に回し、はずれないことを確認する。

※取り付けが不完全な場合、器具の落下によるけがの原因となります。

本体の取り付け

4 ハンドルが「ロック解除」の位置になっていることを確認してください。

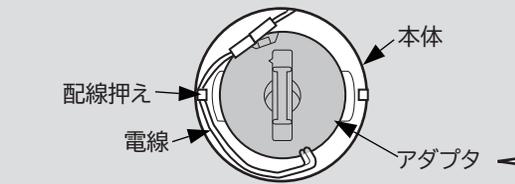
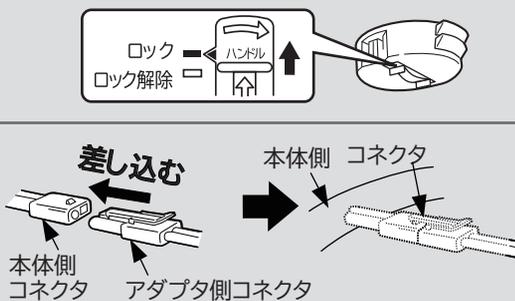
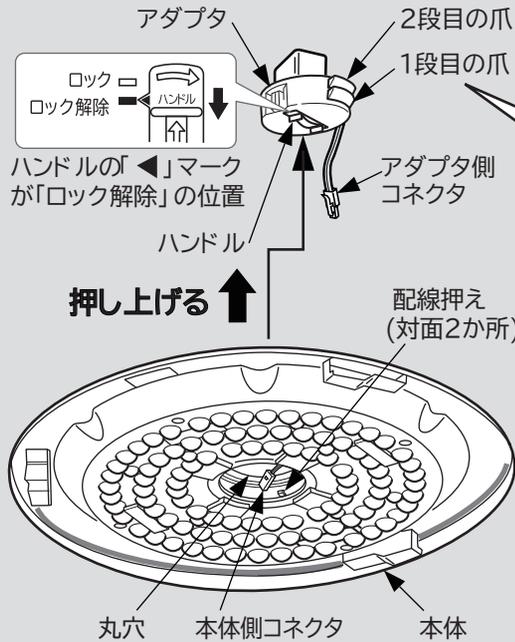
5 アダプタ側コネクタを本体の丸穴に通し、丸穴をアダプタに合わせて、アダプタ両側の爪に掛かるまで押し上げてください。

本体がガタつく場合はさらに押し上げてください(爪は上下2段あります)。

6 ハンドルを「ロック」の位置にずらしてください。

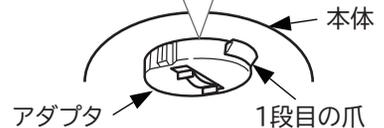
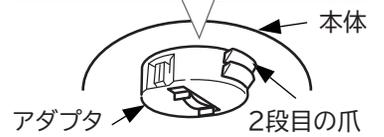
7 アダプタ側コネクタと本体側コネクタとを確実に差し込んでください。

8 アダプタ側の電線を、配線押えに引っ掛けてください。



! ●本体裏側のスポンジやパッキンをはがさない。
※器具のガタつきや回転防止、防虫のためです。

! ●天井に付いている配線部品により、本体に掛かる爪の位置が変わるので、下の図を参照し、適切な爪(両側2か所)が本体に掛かっていることを確認する。
※取り付けが不完全な場合、器具の落下によるけがの原因となります。

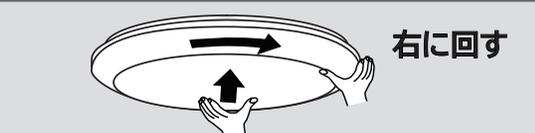
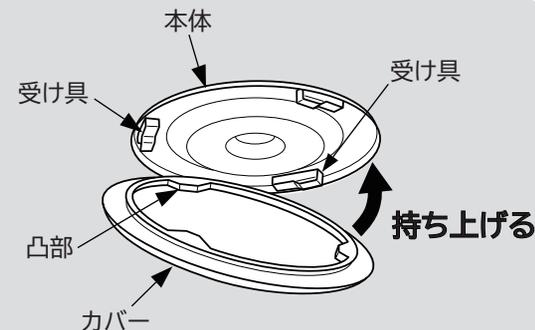


禁止 ●コネクタや電線を無理に引っばらない。
※電線が断線し、感電、故障の原因となります。

カバーの取り付け

9 本体の受け具と受け具の間にカバーの凸部を合わせ、カバーを持ち上げて、本体にかぶせてください。

10 押し上げながら、止まるまで右に回してください。

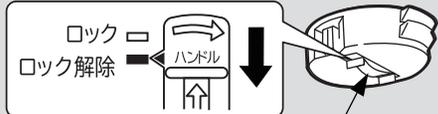


禁止 ●カバーを正しく取り付け後は、カバーを無理に回さない。
※器具の破損、落下によるけがの原因となります。

! ●取り付け後、カバーを軽く下に引っ張り、確実に取り付けられているか確認する。
※取り付けが不完全な場合、器具の落下によるけがの原因となります。

器具の取り外しかた

カバーおよび本体の取り外しかた

<p>1 電源（壁スイッチまたはブレーカ）を切ってください。 ※ブレーカを切る場合、同一ブレーカに接続されている他の機器の電源も同時に切れますので、ご注意ください。</p>		<p>! ●器具の取り外しの際は、電源を切る。 必ず守る ※電源を切らないと、感電の原因となります。</p>
<p>2 カバーを左に回し、外してください。</p>	<p>1 左回し  2 外す </p>	<p>⊘ ●消灯直後の器具は熱いので、時間を置いて本体が十分に冷えてから作業する。 接触禁止 ※やけどの原因となります。</p>
<p>3 コネクタを外してください。 アダプタ側コネクタの爪を押しながら引き抜いてください。</p>	<p>1 押す  2 外す </p>	<p>⊘ ●コネクタを無理に引き抜いたり、電線を引っぱったりしない。 禁止 ※電線が断線し、感電、故障の原因となります。</p>
<p>4 ハンドルを「ロック解除」の位置にずらしてください。</p>	<p> ハンドルの「◀」マークを「ロック解除」の位置にする </p>	
<p>5 本体中央部を、しっかり支えながら、アダプタのハンドルを右に回して本体を外してください。</p>	<p></p>	<p>! ●本体が落下しないように、確実に本体を支えながら作業する。 必ず守る ※手を離すと本体落下によるけがの原因となります。</p>
<p>6 アダプタを外してください。 ボタンを押しながら左方向に回してください。</p>	<p>1 押す  2 左回し </p>	<p>⊘ ●アダプタを無理に回さない。 禁止 ※引掛シーリングボディなどの破損の原因となります。</p>

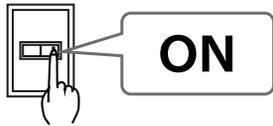
●器具の取り付けかたは **→ P.4~5** をご参照ください。

使いかた

リモコンの操作

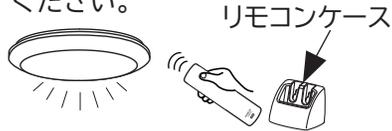
リモコンご使用上の注意

- 壁スイッチはONにしてご使用ください。



壁スイッチはONにする

- リモコンはリモコンケースから取り出して、器具に向けて操作してください。



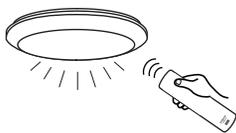
器具に向けて操作

- “タイマー予約”で使用する場合は、リモコンをリモコンケースに入れて器具の真下付近に置いて、ご使用ください。また、リモコンを置く場所から器具が動作するか確認してください。



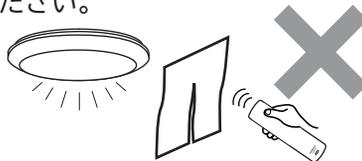
器具の真下付近に置く

- 周囲の環境条件、天井・壁・床の色や材質などにより、リモコンが動作しにくい場合があります。その場合は、器具に近づけてリモコン操作をしてください。



器具に近づけて操作

- リモコンと器具の間にしゃへい物があると器具が動作しない場合があります。その場合は、しゃへい物を避けてリモコン操作をしてください。



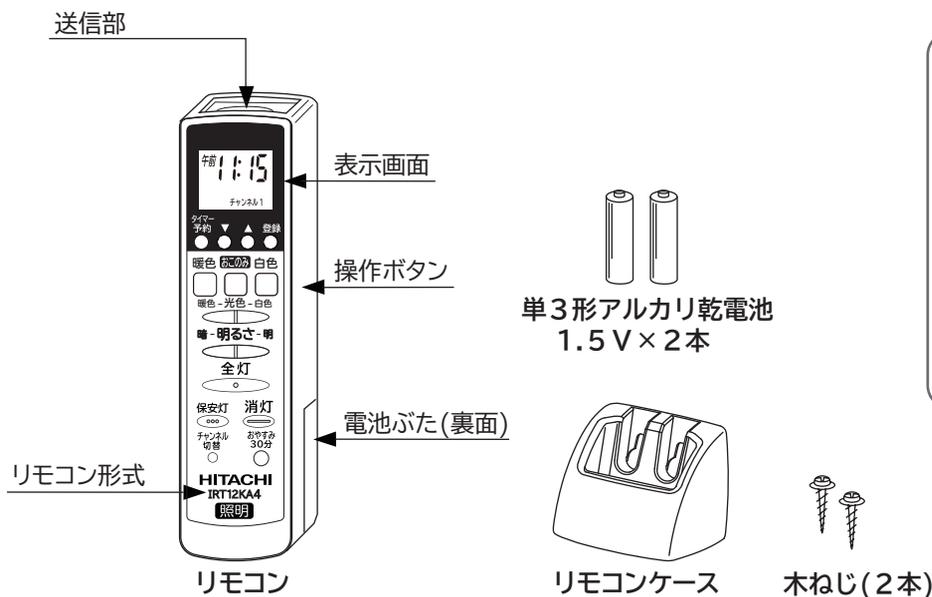
しゃへい物を避けて操作

- 器具とリモコンのチャンネルを合わせ、チャンネル切替ボタンを押して操作してください。→P.12「チャンネルの設定」をご参照ください。

チャンネルを合わせる

- 温度が高くなる物の上や湿気の多い場所でのご使用や、水にぬらしたりしないでください。また、リモコンを落としたり衝撃を与えたりしないでください。変形や故障の原因となります。
- 電池残量表示が点滅を始めたら、乾電池を交換してください。ただし、表示画面が消えてから乾電池を交換した場合、時刻表示および予約内容が工場出荷時の状態に戻りますので、設定し直してください。電池残量表示の点滅時は、電池残量表示の点滅とチャンネル表示のみの表示画面になります。“タイマー予約”は動作しませんが、点灯切り替えのボタン操作は可能です。

各部の名前

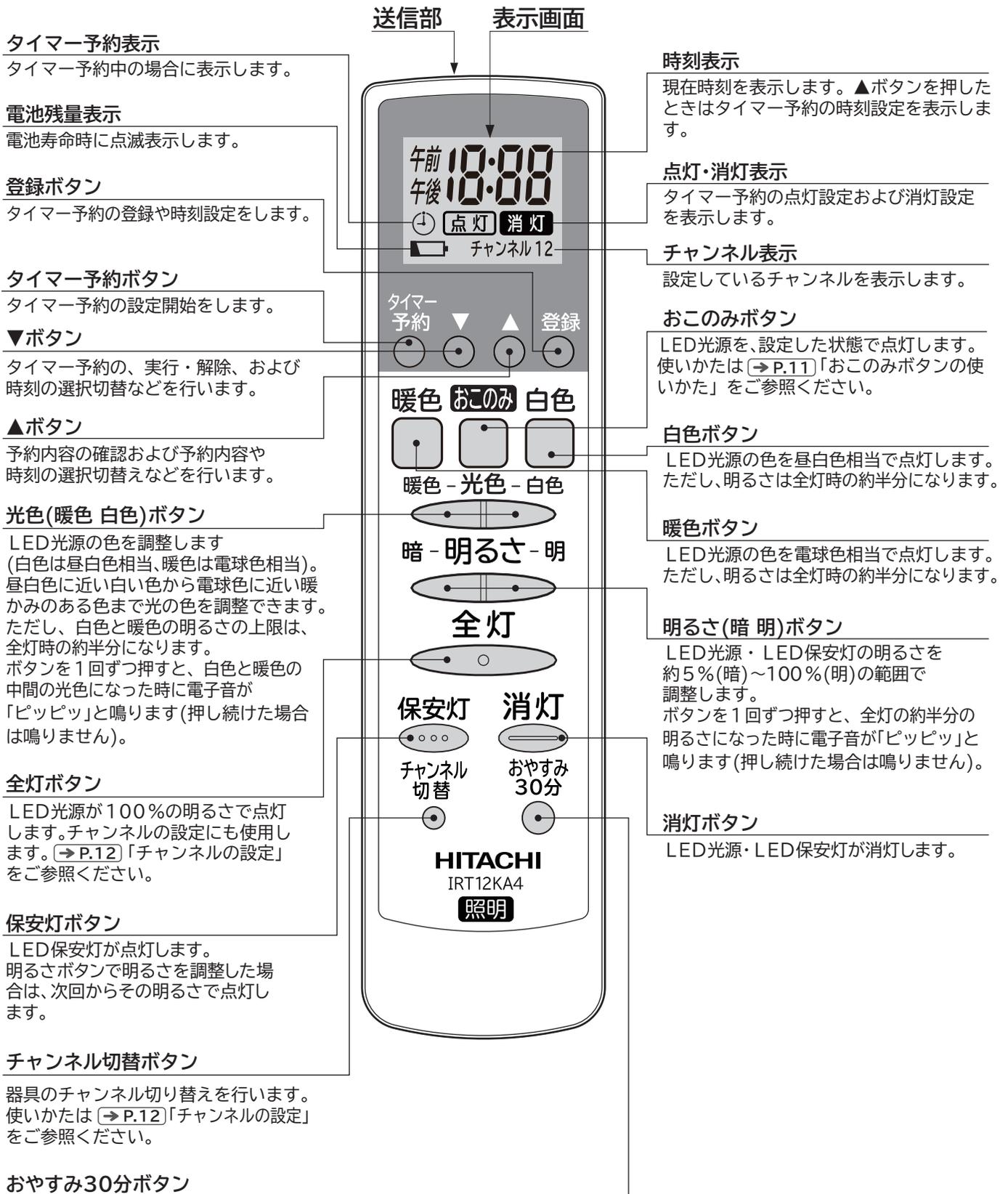


ご注意

- リモコンのアルカリ乾電池は、1日10回の使用で約半年使えます。
- 付属の乾電池は、リモコン操作確認用として同梱していますので、使える期間が短い場合があります。

表示画面と操作ボタンについて

- 操作ボタンを押すとリモコンからの信号が本体に入り、本体から電子音が「ピッ」と鳴り受信をお知らせします。(タイマー予約、▼、▲、登録、チャンネル切替のボタンは除きます。)
操作ボタンを押しても点灯状態が変わらない時は、電子音が「ピッピッ」と鳴ります。



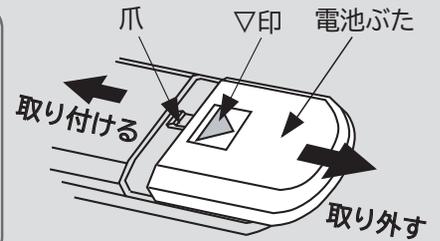
乾電池の入れかた・交換のしかた

- 1 リモコン裏面の電池ぶたの▽印を押しながら、電池ぶたをずらして取り外してください。
- 2 付属の単3形アルカリ乾電池を $-$ $+$ の表示に合わせて入れてください。表示画面の時刻が点滅した場合は、下記の「時計の合わせかた」をご参照ください。
- 3 リモコンに電池ぶたをかぶせ、▽印を押しながら、リモコンに爪が入って「パチン」と音がするまでずらして取り付けてください。

必ず守る

●必ずアルカリ乾電池を使用する。

※アルカリ乾電池以外は、正常に動作しない場合があります。



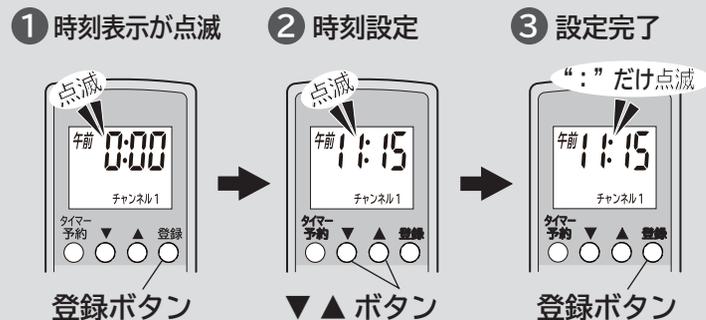
乾電池について

●乾電池を誤って使うと液漏れや破裂の危険があります。乾電池の注意文をよく読み、注意してご使用ください。

- ・電池のアルカリ液が目、皮ふに付着したときは失明やけがのおそれがあるので、すぐに多量の水で洗い流し、医師の治療を受けること。
- ・発熱、液もれ、破裂、機器破損のおそれがあるので、+-の逆接続、ショート、分解、新旧・銘柄・異種電池の混用、充電、加熱、火に入れるなどしない。
- ・液漏れによる故障の原因となるので、長期間使用しない場合は乾電池を取り外しておく。

時計の合わせかた

- 1 表示画面が消えている時に乾電池を入れると時刻表示が点滅し、時刻設定に入ります。
表示画面がある場合は、登録ボタンを3秒以上押してください。時刻表示が点滅して時刻設定に入ります。
- 2 ▼▲ボタンで現在時刻を設定してください。
ボタンを1回押すごとに1分刻みで時刻が変わります。
ボタンを押し続けると10分刻みで時刻が変わります。
- 3 登録ボタンを押してください。
“:”だけが点滅し、設定が完了します。



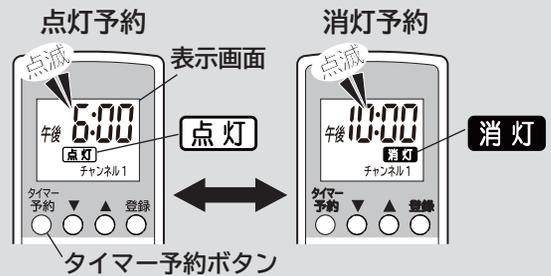
※設定中に1分間操作がない場合は時刻設定を終了します。
この場合、設定途中の時刻は登録されません。

タイマー予約のしかた

「点灯」、「消灯」、「点灯および消灯」のタイマー予約ができます(点灯は全灯での点灯です)。工場出荷時は、点灯「午後6:00」、消灯「午後10:00」に設定されています。また、使用する前に → P.7 「リモコンご使用上の注意」をご参照ください。

※タイマー予約中に1分間操作がない場合はタイマー予約を終了します。この場合、設定途中の時刻は登録されません。

- 1 ●点灯予約・消灯予約の選択**
タイマー予約ボタンを押すと、時刻が点滅して点灯予約の表示画面になります。続けて、タイマー予約ボタンを押すと、押すごとに 消灯予約⇄点灯予約 と表示画面が切り替わりますので、設定したい表示画面にしてください。

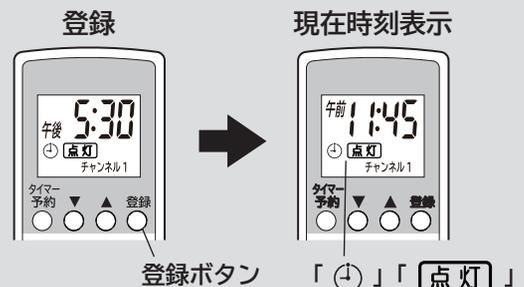


- 2 ●時刻の設定(上記 1で点灯予約にした場合)**
▼ボタン、および、▲ボタンを押して、予約したい時刻にしてください。ボタン操作は → P.9 時計の合わせかた ②」をご参照ください。



- 3 ●登録(上記 1で点灯予約にした場合)**
- 登録ボタンを押すと予約されます。
 - 時刻の点滅が止まり、表示画面が現在時刻表示に戻ります。
 - 予約中は、タイマー予約表示「」と点灯表示「」が表示されます。

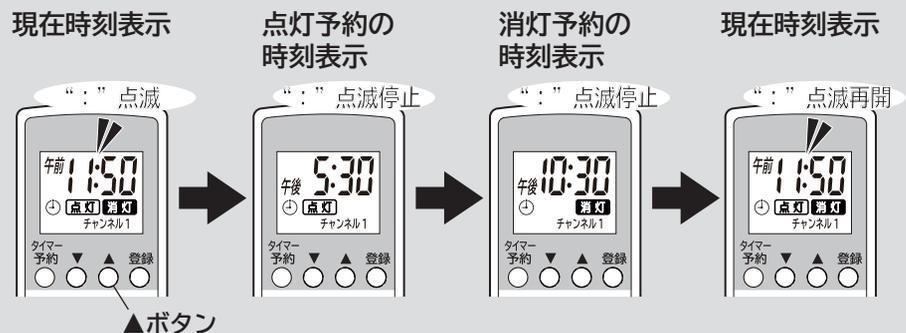
消灯予約や予約時刻の変更をする場合は上記の手順で設定してください。



タイマー予約の内容確認のしかた

現在時刻表示画面で▲ボタンを押すごとに、表示画面が切り替わり予約内容が確認できます。

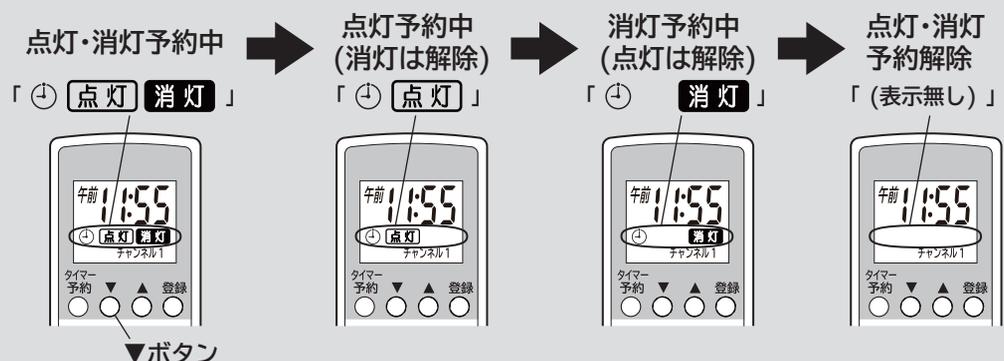
※10秒間操作がない場合は、表示画面は現在時刻表示に戻ります。



タイマー予約の実行・解除のしかた

現在時刻表示画面で▼ボタンを押すごとに表示画面の「」「」「」が切り替わり、実行と解除ができます。

表示している予約は毎日実行します。



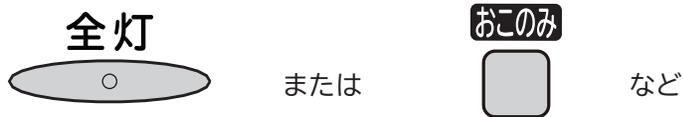
おこのみボタンの使いかた

●おこのみボタン

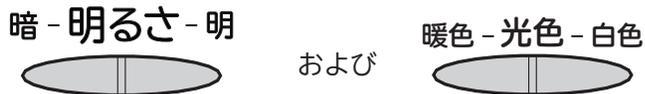
LED光源を設定した明るさと光色で点灯します。工場出荷時は、「全灯」に設定されています。

設定のしかた

①全灯ボタンまたは、おこのみボタンなどを押して点灯してください。



②明るさ(暗 明)および、光色(暖色 白色)ボタンでお好みの点灯状態にしてください。



③おこのみボタンを押してください。点灯状態を記憶します。

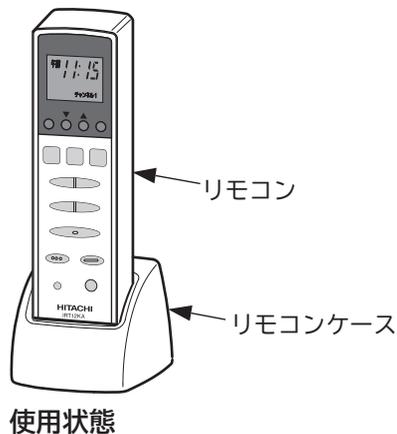


※おこのみボタンの設定は、明るさ(暗 明)または、光色(暖色 白色)ボタンで操作した後に、おこのみボタンを押さないと点灯状態を記憶しません。

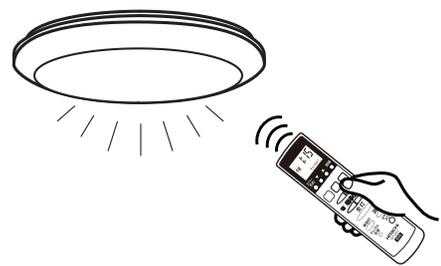
※設定を変更する場合は、上記の手順で変更してください。

リモコンケースの使いかた

●リモコンを無くさないように、置き場所として壁などにリモコンケースを取り付けてご使用ください。



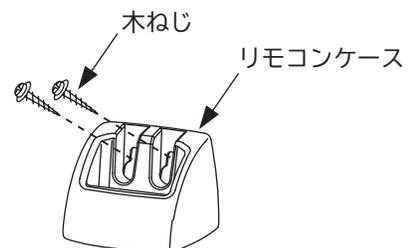
●リモコンは、リモコンケースから取り出し、器具に向けて操作してください。



取り付けかた

●リモコンケースの位置を決め、付属の木ねじ2本で取り付けてください。

※リモコンケースにリモコンを入れて器具の近くに置くための、リモコンケースを上はずらして取り外せるように取り付けると便利です。



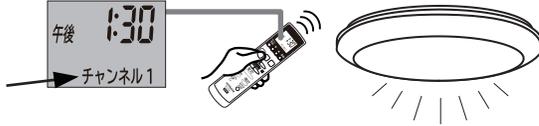
チャンネルの設定

●部屋でご使用になる照明器具の台数に応じ、次のようにチャンネルを設定してください。

1台のリモコンで1台の器具を操作する場合

●リモコンをチャンネル1に合わせて操作します。

表示画面の
チャンネル表示が
“チャンネル1”



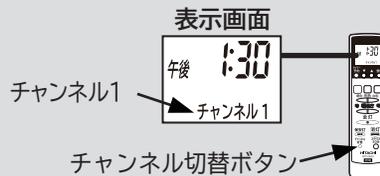
※出荷時は、チャンネル1に設定しています。
リモコンの表示画面がチャンネル1になっていることを確認のうえ、器具にリモコンを向けて操作してください。

1台のリモコンで2台の器具を操作する場合

●器具のチャンネル設定をします。

1 壁スイッチはONにしてください。

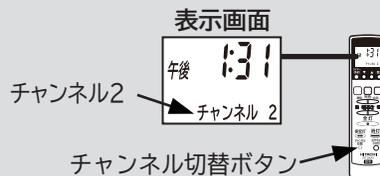
2 リモコンのチャンネル切替ボタンを押して、表示画面のチャンネル表示を“チャンネル1”にしてください。



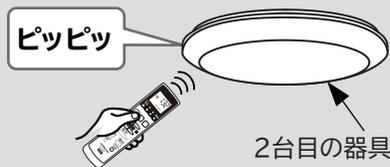
3 1台目の器具にリモコンを向け、全灯ボタンを約3秒間、長押ししてください。
器具から電子音が2回鳴り、設定が終わったことをお知らせします。



4 リモコンのチャンネル切替ボタンを押して、表示画面のチャンネル表示を“チャンネル2”にしてください。



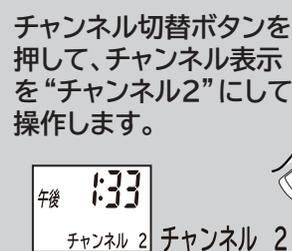
5 2台目の器具にリモコンを向け、全灯ボタンを約3秒間、長押ししてください。
器具から電子音が2回鳴り、設定が終わったことをお知らせします。



ご注意

●リモコンは、他の日立リモコン照明器具に対しても操作できますが、チャンネル設定は、その商品の取扱説明書を参照してください。また、機種によってはリモコンで操作できる機能が制限される場合があります。

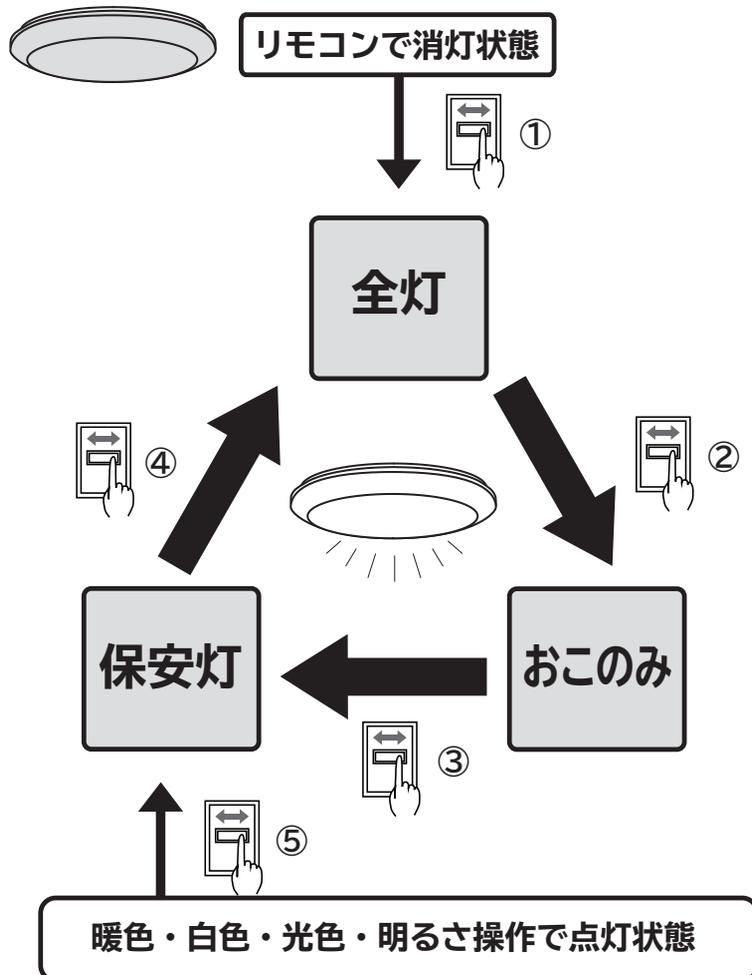
●チャンネル設定が完了したら、リモコンを各々の器具に向けて操作してください。



壁スイッチの操作

点灯状態を切り替える

壁スイッチがONの状態、1秒を目安に“OFF→ON”することで器具の点灯状態を切り替えることができます。ただし、1個の壁スイッチで2台以上の器具を使用すると、点灯状態が同時に切り替わらない場合があります。



切り替え操作のしかた



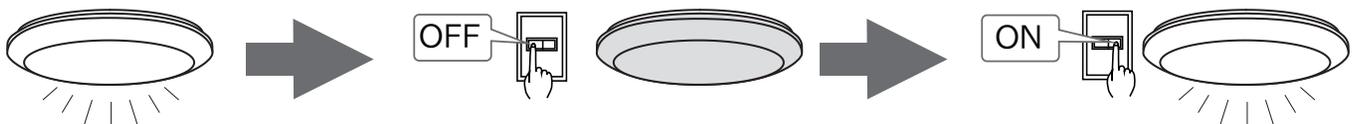
壁スイッチがONの状態、1秒を目安に“OFF→ON”と壁スイッチを操作してください。

※0.2秒以下や2秒を超えた場合は検知しないので、点灯状態は切り替わりません。

- ① リモコンでの消灯状態から切り替え操作をすると全灯に切り替わります。
- ② 全灯から切り替え操作をするとおこのみに切り替わります。
- ③ おこのみから切り替え操作をすると保安灯に切り替わります。
- ④ 保安灯から切り替え操作をすると全灯に切り替わります。
- ⑤ 暖色・白色・光色・明るさ操作で点灯している状態から切り替え操作をすると保安灯に切り替わります。

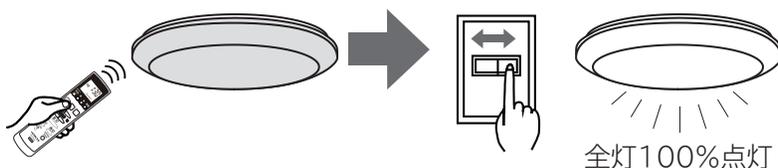
点灯・消灯

- 壁スイッチをOFFにして外出し、帰宅後、壁スイッチをONにすると、壁スイッチをOFFにする前の点灯状態になります。



壁スイッチの便利な使いかた

- リモコンで消灯 (壁スイッチはONのまま)
- OFFにした後、1秒目安に再度ON



お手入れ

●明るく安全にご使用いただくために、定期的にお手入れをしてください。

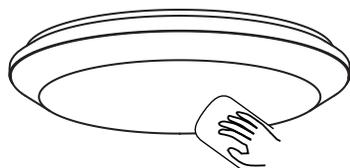
器具のお手入れ

●器具が虫やほこりなどで汚れたら、乾いた柔らかい布で軽くはたき落としてください。

●汚れが落ちない場合は、柔らかい布に石けん水を浸して、よくしぼったのちふき取り、乾いた柔らかい布で仕上げてください。

石けんとは天然油脂を原料としたものです。

(商品表示が“石けん”であることを確認してください。)



●お手入れの際は、電源を切る。

必ず守る

※電源を切らないと、感電の原因となります。



禁止

●みがき粉・ベンジンなどの揮発性のもの・合成洗剤・化学ぞうきんでふいたり殺虫剤をかけたりしない。

※割れ、傷、変色および落下によるけがの原因となります。



みがき粉



ベンジン



合成洗剤



化学ぞうきん



殺虫剤

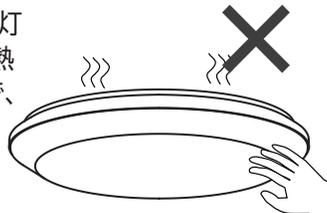
器具取り扱い上のご注意



接触禁止

●点灯中および消灯直後は、器具が熱くなっているので、触らない。

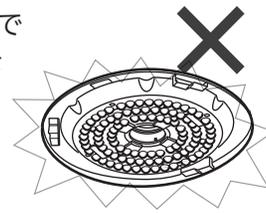
※やけどの原因となります。



禁止

●カバーを外した状態で点灯したLED素子を直視しない。

※目を傷めたり、目に悪影響を及ぼすおそれがあります。



仕様

この製品は日本国内家庭用です。電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

形式	仕様	定格電圧	周波数	消費電力	LED保安灯 点灯時消費電力	消灯時 待機電力
LEC-AH50 (8畳用)		交流 100V	50/60Hz 共用	62W	0.5~1.0W (調光状態による)	0.4W

●この器具はリモコン機能付き器具のため、リモコンで消灯した状態では上記の待機電力を消費しています。長期間ご使用にならないときは電源(壁スイッチまたはブレーカ)を切り、節電を心がけてください。ブレーカを切る場合、同一ブレーカに接続されている他の機器の電源も同時に切れますので、ご注意ください。

お困りのときは

●もしこんな現象が起きたときは… 故障と思われる前に下の表にしたがってお調べください。

このようなときは	考えられる要因	対応	ページ
明るさが変わった。	●短い停電があった。	●短い停電で、壁スイッチの操作のように“点灯状態を切り替える”機能が働く場合があります。	13
リモコンを操作しても点灯しない。	●壁スイッチが OFF になっている。	●壁スイッチを ON にしてください。	7
	●コネクタがきちんと差し込まれていない。	●コネクタを確実に差し込んでください。	5
	●リモコンの乾電池が間違っ入っている。	●乾電池を正しく入れてください。	9
	●乾電池が寿命になっている。	●新しい乾電池と交換してください。	9
	●器具本体とリモコンのチャンネルが合っていない。	●チャンネルを正しく設定してください。	12
タイマー予約が動作しない。	●リモコンを、器具が動作する範囲内に置いていない。	●リモコンを器具の真下付近に置き、置いた場所から動作するか確認してください。	7
壁スイッチを操作しても点灯しない。	●コネクタがきちんと差し込まれていない。	●コネクタを確実に差し込んでください。	5
リモコンで消灯し、壁スイッチを操作しても点灯しない。	●ON・OFF 状態がわかる壁スイッチの場合	●壁スイッチを一度 OFF にし、約1秒後に再度 ON にしてください。	
	●ON・OFF 状態がわからない壁スイッチの場合 (押しボタン式で押すたびに ON と OFF が切り替わり、今の状態が ON なのか OFF なのかわからないタイプ)	●壁スイッチを約1秒間隔で2回押してください。 ●もし上記の操作で点灯しないときは、上記の操作後2秒以上待ってから、壁スイッチを約1秒間隔で3回押してください。	

(上記の表にしたがって調べても直らない場合は、お買い上げの販売店などにご相談ください。)

※万一、煙が出たり、変なおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに電源を切り、異常状態がおさまったことを確認してから、お買い上げの販売店に、器具の形式(本体の器具銘板、カバーの形式ラベルに表示)と現象を連絡のうえご相談ください。

保証とアフターサービス

日立家電品についてのご相談や修理はお買い上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明の点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談は
エコセンターへ

TEL 0120-3121-68
FAX 0120-3121-87

(受付時間) 9:00~19:00 (365日)
携帯電話、PHSからもご利用できます。

商品情報やお取り扱いについてのご相談は
お客様相談センターへ

TEL 0120-3121-11
FAX 0120-3121-34

(受付時間) 9:00~17:30 (月~土) 9:00~17:00 (日・祝日)
年末年始は休ませていただきます。携帯電話、PHSからもご利用できます。

保証期間中は……修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは……修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

保証期間……お買い上げ日から1年です。(保証期間・内容は保証書をご覧ください。)

- 「持込修理」及び「部品購入」については、上記サービス窓口にて各地区のサービスセンターをご紹介します。
- お客様が弊社にお電話いただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を記録(録音など)させていただきます。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただきます。
- 出張修理をご依頼いただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートはがきを送付させていただきます。